



当日は快晴。そのせいか放射冷却でマイナス3℃まで気温が下がり、霜柱を踏みながら裏山へと入りました。

焚火で暖を取りながらのミーティングは、最初に、山本理事長より安全についての注意喚起があり、見勢井顧問より、寒い時でもダニの活動は、ほとんど鈍っていないので気を付けるようにとの注意を受けました。

この日の作業は、畑周りに設置されているフェンスの修復班と伐倒班、そして薪割り班に分かれました。私は、薪割り班に入って見勢井さんの指導の下、高杉さんと一緒に薪割りを担当。薪割り機の現物を見るのは初めてで

したが、この薪割り機は、径40cmを超えるような材でもいとも簡単に割ることが出来、四つ割りカッターを使えば四分割にも。最初は、恐る恐る割っていましたが、要領を得るとカッターの交換や薪をどのように置けば良いのかがわかり、効率よく作業が進み、その結果、たくさんの薪が出来て薪小屋はほぼいっぱいになりました。

フェンスの修復班も大よそ修復が済み、伐倒班も山地さんは念願のチェーンソーを使って、たくさんの木を切ることが出来たと喜んでおられました。

お昼は、焚火を囲み持参の弁当を食べましたが、中村さんはいつものサツマイモをホイールで包んで持ってきて焼き芋にさせていただいておりまし

た。下の方では、地区の人たちが「とんど」をされていて、パキパキという威勢のいい音が響き煙が上がっているのが見えました。最後に、妙國寺のご住職より「山の整備の好きな学生がいて、3月にも、是非一緒にこちらで活動していただきたい」とのお話をいただきました。この日の里山部会、澄み切った空の下で作業をし、大変いい一日を過ごすことが出来ました！  
当日の参加人数は14人。



【妙國寺フィールド内の薪小屋・納屋などの造作の建材が不足し住職に相談していた所、近くの檀家さんより古材の提供の申し出があり貰い受けに行きました。今後のスクゥスクゥの森の整備に役立てていきます：佐藤】

